

報道機関各位



令和4年5月12日
北九州市産業経済局

「令和3年度スタートアップ SDGs イノベーショントライアル事業」の採択を受けたスタートアップ企業による実証実験の成果報告会を開催します！

北九州市は、令和3年度に「スタートアップ SDGs イノベーショントライアル事業（実証支援事業）」を立ち上げ、行政や地元企業と連携して、実証実験を行うスタートアップ企業に対し、最大250万円を補助するほか、実証フィールドの調整や広報の支援を行ってきました。

この度、令和3年度の支援企業（4社）が本市を拠点に行った実証実験の成果報告会を開催しますので、取材方よろしくお願ひします。

記

1 日時 令和4年5月18日（水）15：00～16：30

2 場所 COMPASS 小倉（小倉北区浅野三丁目8番1号 AIMビル6階）

3 次第

- （1）産業経済局長挨拶
- （2）本事業の概要説明
- （3）支援企業（4社）の成果報告（各社よりプレゼンテーション）
- （4）記念撮影

4 支援企業（市外企業は北九州市内に拠点を設置）※実証実験の概要は別紙参照

（1）62Complex 株式会社（福岡市中央区）

LiDAR センサー（三次元情報を継続的に取得するためのセンサー）を活用したにぎわい測定サービスの開発により、まちづくりの DX を実現し、まちなか活性化を目指している企業

（2）SWAT Mobility Japan 株式会社（東京都中央区）

ダイナミック・ルーティング・アルゴリズム（移動の最適化技術）を用いたオンデマンドバスに係るサービスの開発や提供を行うことにより、高齢化が急速に進む日本が抱える交通課題の解決を目指している企業

（3）株式会社 NearMe（東京都中央区）

独自の AI を活用し相乗りにより「はやく、お得で、スムーズに」移動ができるオンデマンド型チャトルサービス“スマートチャトル™”のサービス展開を行っている企業

（4）リーフ株式会社（北九州市小倉北区）

「わたしたちは、ひみつの道具をつくりだし、笑顔あふれる未来をつくります」をミッションに、医療・リハビリ・介護ロボットの開発や製造・販売を行っている企業

【問い合わせ先】

北九州市産業経済局スタートアップ推進課

担当：鎌田（課長）、谷本（係長）TEL：551-3605

支援企業(4社)が行った実証実験について

1 62Complex 株式会社 **62Complex**

市内事業者である北九州家守舎の協力のもと、LiDAR センサーなどを活用し、船場広場における人の移動経路や歩行量の定量的な情報を提供し、にぎわいづくりや都市のDXへの活用の検証を実施。



2 SWAT Mobility Japan 株式会社



SWAT
MOBILITY

北九州市交通局の協力のもと、独自技術を活用した既存の市営バス路線データの分析を行い、その分析結果を効率的なダイヤ改正の提案につなげるサービスの検証を実施。



3 株式会社 NearMe



nearMe.

市内企業である第一交通産業の協力のもと、独自のAIを活用したオンデマンド型シャトルサービス『北九州空港シャトル』の実証運行を行い、そのサービス検証を実施。



4 リーフ株式会社



Reif
Dynamics & Design

市立八幡病院の協力のもと、介助者ひとりで、患者を乗せたまま搬送できる省人化・省力化を実現するベッド搬送ロボットの有効性・実用性の検証を実施。

